

日本技術者教育認定制度について

住環境学科では、技術者教育の質の向上と維持を目的に 2002 年度から教育プログラムの整備を重ね、2005 年度から 2009 年度までの卒業生に対して日本技術者認定制度の認定を受けました。2010 年度卒業生から 2014 年度卒業生については、2010 年に審査を受ける予定です。審査に当たっては対象年度生に加えて過去 2 年の卒業生の実績が評価されます。

日本技術者認定制度とは、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを**日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education / 設立 1999 年 11 月 19 日）**が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する**専門認定（Professional Accreditation）**制度です。

技術者教育プログラムの認定には、高等教育機関で行なわれている教育活動の品質が満足すべきレベルにあること、また、その教育成果が技術者として活動するために必要な最低限度の知識や能力（Minimum Requirement）の養成に成功していることが必要です。つまり、4 年間の教育プログラムが達成する教育成果（Educational Outcomes）が所定の基準を満たしていることが認定の条件となります。

この基準は、①学習・教育目標の設定と公開、②学習・教育の量、③教育手段、④教育環境・学生支援、⑤学習・教育目標達成度、⑥教育改善であり、分野別に補足要件があります。

学習・教育目標とそのために必要な能力が適切に充足されるように**授業時間**が次のように定められています。

- | | | |
|-----|-----------------------|-------------|
| (1) | 総計の授業時間 | 最低 1,600 時間 |
| (2) | 人文科学、社会科学（語学を含む、教養科目） | 最低 250 時間 |
| (3) | 数学・自然科学・情報技術（基礎専門科目） | 最低 250 時間 |
| (4) | 専門科目（建築学および建築学関連分野） | 最低 900 時間 |

授業時間の区分別最低時間

	包括基礎 450	特定領域 (450)	自由設定 ③ (200)
①900 建築学 分野専門	建築設計演習 90	特定専門領域 (450)	自由設定 (200)
	建築計画 67.5		
	建築環境・設備 67.5		
	建築構造 67.5		
	建築生産 67.5		
	分野横断 90		
②500 教養・基礎	数学・自然科学・情報技術 250		
	人文科学・社会科学・語学 250		

総計 ①+②+③=1,600 時間

* () 内の数字は、他の区分が最低時間を設定したときの総計 1,600 時間内の最大値

◆日本技術者教育認定制度の詳細は、HPを参照してください。 <http://www.jabee.org>

住環境学科（平成21年度以降入学者）・1・2回生

	計画系	設計系	環境系	構造・管理系	実験・実習	総合・その他
1年次前期		★建築図学		★建築一般構造学		*住環境学概論 ○空間計画のための自然環境科学
1年次後期	★建築・住居史	★住環境造形実習	◎(★)生活環境と住居設備			★住環境学の技術者倫理 ★(○)空間計画のための物理環境科学演習Ⅰ ○空間計画のための物理環境科学演習Ⅱ
2年次前期	★空間デザイン学 ★建築・住宅論 ★(★)住環境法規 (★インテリアデザイン) ^{*4} (★福祉住環境学)	★設計演習Ⅰ	★建築環境学 ★建築装備学Ⅰ	★建築構造力学 ★建築材料学 ★住居管理学		◇住環境学フィールド演習Ⅰ ^{*4 *5} ◇住環境学フィールド演習Ⅲ ◇住環境学フィールド演習Ⅳ ◇住環境学フィールド演習Ⅴ ^{*4 *5}
2年次後期	★住生活学Ⅰ（基礎編） ★緑地環境計画論 ★住居デザイン学 ★地域居住学	★設計演習Ⅱ ★CAD演習 ★デッサン	★建築装備学Ⅱ (◎(★)建築設備学)	(◎(★)木造建築構造学) (◎(★)建築構造計画学) (◎(★)建築施工学) ^{*4} (◎(★)建築生産デザイン学演習)	★構造材料力学実習 ★住居管理学実習Ⅰ	◇住環境学フィールド演習Ⅱ (住環境学フィールド演習の 対象学年は1～4年生)
3年次前期	★建築計画学 ★都市計画学 ★生活空間解析学Ⅰ ★住生活学Ⅱ（応用編） ★ランドスケープデザイン論 ★測量学実習 ^{*4} ★(★)住環境法規 (★インテリアデザイン) ^{*4} (★福祉住環境学)	★設計演習Ⅲ ★デジタルデザイン演習			★住環境工学実習	★住環境学学外実習（インターンシップ） ○住環境学学外演習（合宿演習）
3年次後期	★住環境計画学 ★生活空間解析学Ⅱ	★設計演習Ⅳ	(◎(★)建築設備学)	(◎(★)木造建築構造学) (◎(★)建築構造計画学) (◎(★)建築施工学) ^{*4} (◎(★)建築生産デザイン学演習)	★建築環境学実習 ★建築装備学実習 ★建築構造学実習 ★住居管理学実習Ⅱ ^{*4}	★住環境学基礎実習
4年次前期		★設計演習Ⅴ				★卒業研究Ⅰ
4年次後期						★卒業研究Ⅱ

★専門必修 ★専門選択必修 ○専門選択 *学部共通科目 () 隔年開講科目

☆(★)H22入学生は専門必修・H21入学生は専門選択必修 ☆(○)H22入学生は専門必修・H21入学生は専門選択 ◎(★)H22入学生は専門(準)必修・H21入学生は専門選択必修

◇卒業要件に含むことができるのは2単位まで

*1 H22入学生は、「生活環境と住居設備」「建築設備学」のいずれか1科目習得が卒業要件。2科目とも習得の場合は一方を選択必修科目の取得単位とみなす。

*2 H22入学生は、「木造建築構造学」「建築構造計画学」のいずれか1科目習得が卒業要件。2科目とも習得の場合は一方を選択必修科目の取得単位とみなす。

*3 H22入学生は、「建築施工学」「建築生産デザイン学演習」のいずれか1科目習得が卒業要件。2科目とも習得の場合は一方を選択必修科目の取得単位とみなす。

*4 H22に開講しない科目 *5 H22以降入学生は受講できない

(注) 3年次以降の欄に記載の科目については、H22年度開講/非開講に関わらず2回生は受講できない。ただし、住環境学フィールド演習Ⅱ～Ⅳは受講可。

(注) 2年次以降の欄に記載の科目については、H22年度開講/非開講に関わらず1回生は受講できない。ただし、住環境学フィールド演習Ⅱ～Ⅳは受講可。

住環境学科（平成20年度以前入学者） - 3回生以上

	計画系	設計系	環境系	構造・管理系	実験・実習	総合・その他
1年次 前期		★建築図学		★建築一般構造学		*住環境学概論 ○空間計画のための自然環境科学
1年次 後期	★建築・住居史	★住環境造形実習	★環境衛生学			★住環境学の技術者倫理 ○空間計画のための物理環境科学演習Ⅰ ○空間計画のための物理環境科学演習Ⅱ
2年次 前期	☆空間デザイン学 ★建築・住宅論 (★インテリアデザイン)* ¹ (★住宅法規)* ¹ (★福祉住環境学)	☆設計演習Ⅰ	★建築環境学	☆建築構造力学 ☆建築材料学 ☆住居管理学		◇住環境学フィールド演習Ⅰ* ¹ ◇住環境学フィールド演習Ⅲ ◇住環境学フィールド演習Ⅳ ◇住環境学フィールド演習Ⅴ* ¹
2年次 後期	☆住生活学Ⅰ（基礎編） ☆緑地環境計画論 ★住居デザイン学 ★地域居住学	☆設計演習Ⅱ ☆CAD演習 ★デッサン	★建築設備学Ⅰ (★建築設備学)	(★建築構造学) (★建築施工学)* ¹ (★建築生産デザイン学演習)	★建築構造・管理学実習	◇住環境学フィールド演習Ⅱ (住環境学フィールド演習の 対象学年は1～4年生)
3年次 前期	☆建築計画学 ☆都市計画学 ☆生活空間解析学Ⅰ ★住生活学Ⅱ（応用編） ★ランドスケープデザイン論 ★測量学 (★インテリアデザイン)* ¹ (★住宅法規)* ¹ (★福祉住環境学)	☆設計演習Ⅲ ☆デジタルデザイン演習	★建築設備学Ⅱ		☆住環境工学実習	★住環境学学外実習(インターンシップ) ○住環境学学外演習(合宿演習)
3年次 後期	★住環境計画学 ★生活空間解析学Ⅱ	★設計演習Ⅳ	(★建築設備学)	(★建築構造学) (★建築施工学)* ¹ (★建築生産デザイン学演習)	★建築環境学実習 ★建築設備学実習 ★建築構造学実習 ★住居管理学実習	☆住環境学基礎実習
4年次 前期		★設計演習Ⅴ				★卒業研究Ⅰ
4年次 後期						★卒業研究Ⅱ

☆専門必修 ★専門選択必修 ○専門選択 *学部共通科目 () 隔年開講科目
 ◇卒業要件に含むことができるのは2単位まで
 *1 H22に開講しない科目

人間環境学科住環境学専攻

	計画系	設計系	環境系	構造・管理系	実験・実習	総合・その他
1年次 前期		★図学Ⅰ		★建築一般構造学		*住環境学概論 ★空間計画のための自然環境科学
1年次 後期	★建築・住居史	★図学Ⅱ ^{*1}	★環境衛生学			★住環境学の技術者倫理 ★空間計画のための物理環境科学演習Ⅰ ★空間計画のための物理環境科学演習Ⅱ
2年次 前期	★空間デザイン学 ★建築・住宅論 (★インテリアデザイン) ^{*7} (★住宅法規) ^{*7} (★福祉住環境学)	★基礎設計製図	★建築環境学	★建築構造力学 ^{*3} ★建築材料学 ★住居管理学	★住居管理学実習 ^{*4}	◆安全・安心のまちづくり実践講座 ^{*7}
2年次 後期	★住生活学Ⅰ ★緑地環境計画論 ★住居デザイン学	★設計演習Ⅰ ★CAD演習 ^{*1} ★デッサン	★建築設備学Ⅰ (★建築設備学)	(★建築構造学) (★建築施工学) ^{*7}	★建築材料・構造学実験 ^{*5}	◆まちなみ再生実践講座 (上記◆2科目の対象学年は1～4年生)
3年次 前期	★建築計画学 ★都市計画学Ⅰ ★住生活学Ⅱ ★ランドスケープデザイン論 ★測量学 (★インテリアデザイン) ^{*7} (★住宅法規) ^{*7} (★福祉住環境学)	★設計演習Ⅱ ★デジタルデザイン演習 ^{*2}	★建築設備学Ⅱ		★建築材料・構造学実験 ^{*5} ★建築環境学実験 ^{*7}	○住環境学学外実習(インターンシップ)
3年次 後期	★住環境計画学 ★都市計画学Ⅱ ^{*7} ★地域居住学Ⅰ ★地域居住学Ⅱ	★設計演習Ⅲ	(★建築設備学)	(★建築構造学) (★建築施工学) ^{*7}	★建築設備学実習 ^{*7}	★住環境学基礎実習
4年次 前期		★設計演習Ⅳ				★卒業研究Ⅰ
4年次 後期						★卒業研究Ⅱ

☆専門必修 ★専門選択必修 ○専門選択 *学部共通科目 () 隔年開講科目

◆卒業要件単位に含まれない

*1、*2、*3 H15年度以前入学者は選択必修

*4 H15年度以前入学者は「住居管理学実習Ⅰ、Ⅱ」(H22に開講しない)

*5 H17年度入学者、*6 H16年度以前入学者 (開講時期については、教務担当委員に確認のこと)

*7 H22に開講しない科目

授業科目別授業時間(平成22年度・住環境学科)

必☆:H22年入学生より必修、選必☆:H22入学生より(準)必修

Table with columns for Course Name, Credits, Prerequisites, and various time slots (Lecture, Seminar, etc.). It lists numerous courses such as '住生活学 I (基礎編)', '建築学', '環境学', and '卒業研究'. The table is organized into sections for '住環境学科' and '学部共通科目'.

平成22年度(2010年度)住環境学科/人間環境学科住環境専攻、大学院博士前期課程 時間割(前期)

※専門必修 ※専門選択必修 ※専門選択 △専門選択 ○キャリア教育科目 *学修・学位共通 *住環境専攻の科目名 #10年度以前入学生
 ◎10年度以前入学生の学修入学生については、必修または選択科目(詳細は、ガイダンス要綱参照のこと)

曜日	1・2	3	4
月	1・2 *生活環境学演習		
火	1・2 英語	3・4 *生活空間解析学Ⅱ (5-8時限) 中山 [E26] *地域居住学 中山 [E26]	4年
水	1・2 英語	3・4 *建築・住居学 増井 [E26] *生活空間解析学Ⅰ 中山 D120 *住居学Ⅱ(応用編) 今井 [E26] *建築計画学 増井 [E26] *環境心理学(0) (O)生活環境学Ⅱ	3年
木	1・2 英語	3・4 *建築学Ⅱ 増井 [E26] *建築学Ⅰ 増井 [E26] *建築学Ⅲ 増井 [E26] *建築学Ⅳ 増井 [E26] *建築学Ⅴ 増井 [E26] *建築学Ⅵ 増井 [E26] *建築学Ⅶ 増井 [E26] *建築学Ⅷ 増井 [E26] *建築学Ⅷ(0) (O)教育相談(A)	2年
金	1・2 英語	3・4 *建築学Ⅱ 増井 [E26] *建築学Ⅰ 増井 [E26] *建築学Ⅲ 増井 [E26] *建築学Ⅳ 増井 [E26] *建築学Ⅴ 増井 [E26] *建築学Ⅵ 増井 [E26] *建築学Ⅶ 増井 [E26] *建築学Ⅷ 増井 [E26] *建築学Ⅷ(0) (O)教育相談(A)	1年

平成22年度(2010年度)住環境学科/人間環境学科住環境専攻、大学院博士前期課程 時間割(後期)

※専門必修 ※専門選択必修 ※専門選択 △専門選択 ○キャリア教育科目 *学修・学位共通 *住環境専攻の科目名 #10年度以前入学生
 ◎10年度以前入学生の学修入学生については、必修または選択科目(詳細は、ガイダンス要綱参照のこと)

曜日	1・2	3	4
月	1・2 *生活環境学演習		
火	1・2 英語	3・4 *建築・住居学 増井 [E26] *生活空間解析学Ⅰ 中山 D120 *住居学Ⅱ(応用編) 今井 [E26] *建築計画学 増井 [E26] *環境心理学(0) (O)生活環境学Ⅱ	4年
水	1・2 英語	3・4 *建築学Ⅱ 増井 [E26] *建築学Ⅰ 増井 [E26] *建築学Ⅲ 増井 [E26] *建築学Ⅳ 増井 [E26] *建築学Ⅴ 増井 [E26] *建築学Ⅵ 増井 [E26] *建築学Ⅶ 増井 [E26] *建築学Ⅷ 増井 [E26] *建築学Ⅷ(0) (O)教育相談(A)	3年
木	1・2 英語	3・4 *建築学Ⅱ 増井 [E26] *建築学Ⅰ 増井 [E26] *建築学Ⅲ 増井 [E26] *建築学Ⅳ 増井 [E26] *建築学Ⅴ 増井 [E26] *建築学Ⅵ 増井 [E26] *建築学Ⅶ 増井 [E26] *建築学Ⅷ 増井 [E26] *建築学Ⅷ(0) (O)教育相談(A)	2年
金	1・2 英語	3・4 *建築学Ⅱ 増井 [E26] *建築学Ⅰ 増井 [E26] *建築学Ⅲ 増井 [E26] *建築学Ⅳ 増井 [E26] *建築学Ⅴ 増井 [E26] *建築学Ⅵ 増井 [E26] *建築学Ⅶ 増井 [E26] *建築学Ⅷ 増井 [E26] *建築学Ⅷ(0) (O)教育相談(A)	1年

注)この時間割は住環境学科/住環境専攻で使用しているものです。正式な文書で確認してください。

資料7

平成22(2010)年度 教養教育科目 時間割

曜日 学期	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	曜日 学期
月 (前期)	★教育相談(B)	○いのちと健康 ○統計入門 ○★物理学の考え方(展) ★フランス語ⅡA(5)	ドイツ語ⅠB(15) 中国語Ⅰ(K) 西洋の美と芸術 ★スポーツ実習C4	○情報処理入門Ⅰ(G) フランス語ⅠB(6) ★ドイツ語ⅡB(5) ★中国語Ⅲ	○自然人類学	月 (前期)
月 (後期)	音楽概説 奈良の歴史と自然環境(現代GP科目)	○生活と健康 ○統計 ○生活の中の物理学 ★フランス語ⅡA(6)	ドイツ語ⅠB(16) フランス語ⅠB(10) 中国語Ⅰ(P) 日本の美と芸術 国際関係論 ★生活と経済(展)	フランス語ⅠB(8) ★ドイツ語ⅡB(6) ★中国語Ⅳ	専門職論(生活環境学部)	月 (後期)
火 (前期)	実践基礎英語 [★道徳教育の研究(A)]	○化学の世界 ○地学入門 ★エクステンブ・リーディング(英語)	歴史学 ○生活と色彩 ★スポーツ実習A9	○環境 ○ジェンダー生理学 現代の倫理 現代経済概論 シルクロードと自然環境	○情報処理入門Ⅰ(K) 現代社会と職業 実践基礎英語(A) [★生徒指導・進路指導論(B)] * [★生徒指導論(B)]	火 (前期)
火 (後期)	実践基礎英語 [★中等家庭科教材内容論A] # [★中等家庭科教材内容論Ⅰ]	○情報処理入門Ⅱ(A) ○化学の常識(展) ○地球環境 地域の人と環境 ★エクステンブ・リーディング(英語)	自然環境の地理学 ★スポーツ実習A10	現代倫理学の課題(展) シルクロードと古代日本	実践基礎英語(B) [★教育心理学(B)] [★教育相談(A)]	火 (後期)
水 (前期)	地域の暮らしとグローバル社会 政治学 ○細胞と生命(展) ★ドイツ語Ⅲ	日本国憲法(A) 部落史と部落問題 ○科学史入門	イングリッシュ・ワークショップ(中級)Ⅰ 韓国語初級Ⅰ(A) ★ロシア語初級Ⅰ ○数学入門 ○情報処理入門Ⅰ(H) 現代宗教学への招待 ★スポーツ実習A11	イングリッシュ・ワークショップ(上級)Ⅰ 中国語検定初級Ⅰ 韓国語中級Ⅰ ★ロシア語中級Ⅰ ★スポーツ実習B4 現代法概論	★中国語検定中級Ⅰ 大学生生活入門	水 (前期)
水 (後期)	文化と民族 生活と科学 ★ドイツ語Ⅳ	人権と差別 社会心理学入門 ○環境と生物 ○生体機能と性差 ○情報処理入門Ⅱ(B)	イングリッシュ・ワークショップ(中級)Ⅱ 韓国語初級Ⅱ(A) ★ロシア語初級Ⅱ ○数学アラカルト(展) 現代世界と宗教の意味 ★スポーツ実習C3	イングリッシュ・ワークショップ(上級)Ⅱ 中国語検定初級Ⅱ 韓国語中級Ⅱ ★ロシア語中級Ⅱ ★スポーツ実習A12	★中国語検定中級Ⅱ [★中等教科教育法家庭A] # [★中等教科教育法家庭Ⅰ]	水 (後期)
木 (前期)	日本とヨーロッパ 心の科学への招待 ○環境と化学 ★ドイツ語ⅡA(5)	暮らしの中の地理学	ドイツ語ⅠA(15) 中国語Ⅰ(M)	日本の言語と文学 社会学入門 哲学の歴史 ★スポーツ実習B3 ★スポーツ実習C1 フランス語ⅠA(5) 中国語Ⅱ(J)	[★教育心理学(A)]	木 (前期)
木 (後期)	西洋の言語と文化 ○色彩心理(展) ○エネルギーと化学 ○生命・運動・健康 ★ドイツ語ⅡA(6)	○情報処理入門Ⅱ(C) 心の科学の現在	ドイツ語ⅠA(16) 中国語Ⅰ(R)	○健康・スポーツ科学 現代社会論 日本の文学を読む(展) 哲学の基本問題 ★スポーツ実習B5 ★スポーツ実習C2 フランス語ⅠA(7) 中国語Ⅱ(K)	[★生徒指導・進路指導論(A)] * [★生徒指導論(A)] 生活と観光(現代GP科目)	木 (後期)
金 (前期)	一般基礎英語 [★教育制度論(A)(C)] * [★教育原理Ⅱ(A)(C)]	日本国憲法(B) ジェンダー論入門 ○情報処理入門Ⅰ(J) ★オラルコミュニケーション(英語) [★教育制度論(B)] * [★教育原理Ⅱ(B)]	韓国語初級Ⅰ(B) [★教育課程論(A)] [★特別活動論(A)] * [★教育課程論(A)]	健康運動実習Ⅰ(M) ★フランス語ⅡB(5)	[★教育方法の理論と実践] * [★中等教育授業論] 世界遺産と地域計画(現代GP科目)	金 (前期)
金 (後期)	一般基礎英語 [★教育原理(A)] * [★教育原理Ⅰ(A)]	女性と社会 ○科学史 ★オラルコミュニケーション(英語)	韓国語初級Ⅱ(B)	健康運動実習Ⅱ(M) ★フランス語ⅡB(6)	[教職論(A)]	金 (後期)
集中 (前期)	★スポーツ実習C5	[★教育実習Ⅰ]	[★事前・事後指導]			集中 (前期)
集中 (後期)	★スポーツ実習C6	[★総合演習(M)]				集中 (後期)

○: 平成22年度住環境学科入学者学部規程別表Ⅶの住環境学科選択科目のなかの教養教育科目

★: 2年生以上を対象とする科目

*: 平成19年度以前入学生用科目

#: 平成20年度以前入学生用科目

[]内は教職科目(高等学校家庭科教員免許状取得のために履修すべき科目のみ。ただし、正式には全学教育ガイドで確認のこと)

情報処理入門Ⅱの対象者は、情報処理入門Ⅰまたは情報科学入門の既履修者

科目名末尾の(展)の表示は展開科目(少人数のゼミナール形式で開講)を示す

注) この時間割は住環境学科・住環境学専攻で便宜的に作成したものです。正式な文書で確認してください。

1回生			2回生			3回生			4回生			
			設計演習Ⅰ(学科)			設計演習Ⅲ(学科)			設計演習Ⅴ(学科)			
日付	課題	担当	日付	課題	担当	日付	課題	担当	日	曜日	課題	担当
4			16 金	■ティールーム	長田	15 木	■居住施設	今井	16 金	■ミュージアム	増井	
			23 金		牧野	22 木		長田	23 金		井上 山本	
5			07 金			06 木	DD演習(欄外参照)	瀬渡	07 金			
			14 金			13 木		山本	14 金			
			20 木	●		20 木			21 金			
			21 金	■独立住宅	山本	27 木			28 金			
			28 金		藤平							
6			04 金			02 水	●		03 木	●		
			11 金			03 木	■中高層集合住宅	玉置	04 金	■交流施設	宮城	
			18 金			10 木		瀬渡	11 金		長野	
			24 木	●		17 木			18 金			
			25 金	■保育園	中山	24 木			25 金			
7			02 金		向井	01 木			02 金			
			09 金			08 木			09 金			
			16 金			15 木			16 金			
			23 金	△		22 木	△		22 木	●		
			24 土	オープンキャンパス		28 水	●		23 金	△講評会		
			29 木	●		29 木	▲講評会(大掃除)		30 金	●プログラム・ポート提出・講評会		
			30 金	▲講評会(大掃除)								
8			夏季休業課題:独立住宅のバス									
9						中旬	在来生合宿研修					
住環境造形実習(学科)			設計演習Ⅱ(学科)			設計演習Ⅳ(学科)			卒業設計(学科)			
日付	課題	担当	日付	課題	担当	日付	課題	担当	日	曜日	課題	担当
10	04 月	■図面模写(RC)	今井	01 金	■都市の広場	宮城	07 木	■高齢者複合施設	中山	01 金	●中間講評会1	全教員
	18 月		牧野	08 金		山本	14 木		長田			
	25 月			15 金	CAD演習(欄外参照)	瀬渡	21 木					
				22 金		藤平	28 木	△				
				29 金	△							
11	01 月	●■図面模写(木造)	向井	12 金			11 木			06 土	オープンキャンパス	
			山本	18 木	●		18 木			26 金	●中間講評会2	全教員
	15 月			19 金	■地域の図書館	細田	25 木					
	22 月	●■環境造形	宮城	26 金	(インテリア)	増井						
	29 月											
12	06 月	●■平面構成	長田	03 金			01 水	●		06 土	オープンキャンパス	
	13 月			10 金			02 木	■ニュータウンの再生	宮城			
	20 月			17 金			09 木		牧野			
	休業中	模型製作・模型写真	山本				16 木	■●一日課題 ▲	宮城	17 金	一次提出	
									牧野			
1	11 火			07 金			06 木					
	19 水	●■立体構成	長田	21 金			20 木					
	24 月			28 金			27 水					
	31 月											
2	07 月	●講評会		03 木	●		03 木			04 金	●最終提出	
	18 金	▲大掃除		04 金	講評会 ▲		09 水	●		12 土	卒業設計公開講評会	
				18 金	▲大掃除		10 木	講評会		17 木	卒業研究(論文・設計)発表会	
							18 金	▲大掃除		18 金	▲記録用図面・データ提出	

- 提出日/締め切り時刻 12時20分(厳守)
提出後製図室に集合して清掃を行う。
- 課題説明/原則として課題説明後に前課題の講評会を行う。
- △ 掃除/オープンキャンパスのための清掃とレイ外の変更を行う。
- ▲ 大掃除/ワックスかけまでの清掃を行う。

CAD演習(集中):

a. 10/16(土)	10:00-17:00
a. 23(土)	10:00-17:00
b. 29(金)	10時限
b. 11/12(金)	10時限
b. 19(金)	10時限
b. 26(金)	10時限
b. 12/03(金)	10時限

a. H棟情報処理教育室
b. A棟情報処理教育室

DD演習(集中):ADDRESS室(E棟5階)

06/09(水)	5-10時限
12(土)	10:00-16:30
16(水)	5-10時限

- (注1) 各課題の日程は変更されることがあるので、掲示に注意すること。
- (注2) 4回生前期の設計演習Ⅴを履修しないものは原則として卒業設計を選択できない。

□ 取りまとめ責任者

資料 9

卒業設計プログラムレポート・・・デザインブックの作成について

目的: 卒業設計を行うために必要な基礎的な調査研究を行い、その成果をわかりやすいかたちにとりまとめてプレゼンテーションします。後期にはいつてからの具体的な設計作業の過程では、常にこのデザインブックが拠り所となります。

内容: 下記の内容についての調査研究を行い、それらについてヴィジュアルな材料を多用しながら「誰が見ても理解できる」ようにとりまとめます。

- 1) 提案の社会的背景・・・なぜその提案をするのかについて、様々な情報を収集し分析することを通じて、提案の社会的意義を表明します。(マニフェスト)
- 2) 既往事例のスタディ・・・提案しようとするものに類似する事例についての情報を収集し、あるいは現地を訪れて、自らの価値観をもとに評価するとともに、参考になる部分を抽出します。
- 3) プログラムの提案・・・提案の暫定的な概要を、数量と空間あるいは環境のしくみによって提案します。オルタナティブ(代替案)の提案も可とします。これについては、以降の設計過程で柔軟に変更することができるものです。
- 4) 敷地ならびにその周辺環境の調査と分析、評価・・・複数の敷地を設定してもかまわないものとします。ただしその場合は比較検討を行うこととします。
- 5) コンセプトメイキング・・・言葉とともにコンセプトスケッチ、コンセプトモデルなど「カタチ」での提案を行います。
- 6) スケジュールの概要・・・後期の設計作業のスケジュールを提示します。

※特定の「敷地」からスタートする場合もあるので、上記の内容とその順序については、柔軟に取り扱うことができるものとします。

体裁 : A4判あるいはそれに近似する判型・30 ページ程度

簡易製本3部(バインダーは不可)とします。

併せてPDFファイル形式にしたものを CD-R で提出します。

提出 : 平成 22 年 7 月 30 日 (金) 10 時 住環境学共同研究室 (E416)

プレゼンテーション : 平成 22 年 7 月 30 日 (金) 13 時～

- 第 1 回中間講評 平成 22 年 10 月 1 日 (金)
- 第 2 回中間講評 平成 22 年 11 月 26 日 (金)

- 卒業設計一次提出 平成 22 年 12 月 17 日 (金) 正午 住環境学共同研究室 (E416)
- 卒業設計締切 平成 23 年 2 月 4 日 (金) 11 時 ~12 時 住環境学共同研究室 (E416)
・・・A1判6枚相当以上の作品を提出すること。
- 最終提出物締切 平成 23 年 2 月 18 日 (金) 15 時 住環境学共同研究室 (E416)
①B4 サイズに縮小した図面2組、②PDFファイル形式にした CD-R。
 - ・卒業までに卒業作品(パネル)を提出します。
 - ・また、卒業設計集を作成するための作業もあるので留意しておくこと。

住環境学科・住環境学専攻 ADVISING KARTE

■日 時： 年 月 日 : ~ :

■場 所： _____

■学生氏名： _____ 署名

■教員氏名： _____ 署名

■アドバイス事項（該当科目） _____

■質問項目： _____

■所 見： _____

■対 策： _____

■参考資料： _____

CC： _____

資料14

平成 21 年度以降入学生（1・2 回生）対象：

一級／二級・木造建築士試験の受験資格要件

（平成 21 年以降入学者から適用となる各学校等・課程別の指定科目一覧）について

建築士法の改正に伴い、建築士試験の受験資格要件が「所定の学校の課程を修めて卒業後、所定の実務経験」から「国土交通大臣が指定する建築に関する科目（以下「指定科目」という。）を修めて卒業後、所定の実務経験」に変更されました。この指定科目については、試験を受けようとする者が各学校等において修得した指定科目（あらかじめ各学校等からの申請により指定科目に該当することが確認された開講科目）の単位数によって必要となる実務経験年数が異なります。この受験資格要件変更は、平成 21（2009）年入学者から適用となります。

平成 21（2009）年以降入学者が、大学卒業後、建築士試験を受けようとするには、受験申込に当たって、卒業した学校等が発行する「一級／二級・木造建築士試験 指定科目修得単位証明書・卒業証明書」を受験申込書に添付して提出することが必要となります。奈良女子大学生活環境学部住環境学科における指定科目に該当する開講科目一覧については、資料 14-1（一級）、資料 14-2（二級／木造）を参照してください。

なお、この指定科目制については、改正建築士法の施行日（平成 20 年 11 月 28 日）以後に学校等に入学した者（平成 21 年以降入学者）から適用となります。従って、法施行時にすでに所定の学校を卒業している者、法施行時に所定の学校に在学する者で施行日以後に当該学校を卒業したのものについては、経過措置として、従前の学歴要件が適用されます（3 回生以上が該当）。

4 年生大学における、建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数は以下ようになります。

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位			
④建築設備	2単位	2単位	2単位			
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位			
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位	6単位	6単位	6単位
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位			
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位			
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他(b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a)+(b)	60単位	50単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年

なお、平成 21 年以降入学者から適用となる各学校等・課程別の指定科目一覧についての詳細は、
 (財) 建築技術教育普及センター建築士試験の受験資格要件のホームページ
<http://www.jaenic.or.jp/kamoku-gakkouitiraninfo.htm> も参照してください。

(1) 平成 22 年度入学者 (1 回生)

平成 22 年度入学者については、卒業要件が変更となり、住環境学科の卒業要件を満たす単位を修得すれば、上記の一級/二級・木造建築士試験の受験資格要件を満たします。ただし、卒業要件にかかわる学部専門科目の「必修」科目 (55 単位) の修得については、従来の指定された必修科目群の科目全てを履修する方式から、①必ず修得しなければならない「必修科目」(50 単位) +② (選択必修科目) から所定の組合せで必要単位数を修得する「(準) 必修科目」(5 単位) を修得する方式となります。①の「必修科目」(50 単位) 以外の、②の「(準) 必修科目」(5 単位) の履修方法については、以下の注意事項を熟知して履修計画を立ててください。

平成 22 年度入学者 (1 回生) の学部専門科目の必修科目単位のうち、選択必修科目から履修しなければならない「(準) 必修科目」(5 単位) の修得について

科目群 (指定科目 の分野区分)	選択必修科目の 授業科目名	履修 学年	単位 数	条件	確認 欄
A (④建築設備)	建築設備学	2	2	科目群 A より 2 単位を必修。	□
	生活環境と住居設備	1	2		
B (⑥建築一般構造)	建築構造計画学	2	1	科目群 B より 1 単位を必修。	□
	木造建築構造学	2	1		
C (⑦建築生産)	建築施工学	2	2	科目群 C より 2 単位を必修。	□
	建築生産デザイン学演習	2	2		

注) 表に示した条件により修得した 5 単位分が学部専門科目の「必修」の単位数となる。なお、これを超えて修得した分の単位数は、学部専門科目の「選択必修」の単位数に加算できる。

(2) 平成 21 年度入学者 (2 回生)

平成 21 年度入学者が住環境学科の卒業要件を満たす単位を修得しても、上記の一級/二級・木造建築士試験の受験資格要件を満たさない場合があります。卒業後、建築士試験の受験を考えているもの、あるいはすぐに受験することは考えていないが、将来受験する可能性が出た際に備え、受験資格要件は満足しておきたいと考えるものは、履修計画の中に、以下の科目の修得を必ず含めるように留意してください。

I. 卒業要件以外に一級建築士受験資格要件を満たすために受講すべき科目

(卒業後、実務経験2年必要) :

指定科目の 分野区分	住環境学科開講の 授業科目	履修 学年	単位 数	条件	確認 欄
④建築設備	建築設備学	2	2	これら2科目のうち1科目以上を修得すること。	<input type="checkbox"/>
	生活環境と住居設備	1	2		
⑤構造力学	空間計画のための物理科学 演習 I	1	3	当該科目を修得する必要がある。	<input type="checkbox"/>
⑥建築一般 構造	建築構造計画学	2	1	これら2科目のうち1科目以上を修得すること。	<input type="checkbox"/>
	木造建築構造学	2	1		
⑦建築生産	建築施工学	2	2	これら2科目のうち1科目以上を修得すること。	<input type="checkbox"/>
	建築生産デザイン学演習	2	2		
⑧建築法規	住環境法規	2	1	当該科目を修得する必要がある。	<input type="checkbox"/>

II. 卒業要件以外に二級・木造建築士受験資格要件を満たすために受講すべき科目

(卒業後、実務経験0年) :

指定科目の 分野区分	住環境学科開講の 授業科目	履修 学年	単位 数	条件	確認 欄
⑦建築生産	建築施工学	2	2	これら2科目のうち1科目以上を修得すること。	<input type="checkbox"/>
	建築生産デザイン学演習	2	2		
⑧建築法規	住環境法規	2	1	当該科目を修得する必要がある。	<input type="checkbox"/>

指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: 大学	学校課程コード: 2911-139-250
所在地都道府県: 奈良県	
学校名 課程名: 奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科	
対象入学年: 平成21年(西暦2009年)4月入学	修業年限: 4年
必要な実務経験の最短年数: 一級:2年 二級・木造:0年	最終確認日: 2009/01/28

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	設計演習Ⅰ	2年	2
①建築設計製図	設計演習Ⅱ	2年	3
①建築設計製図	設計演習Ⅲ	3年	3
①建築設計製図	設計演習Ⅳ	3年	3
①建築設計製図	設計演習Ⅴ	4年	3
①建築設計製図	CAD演習	2年	1
②建築計画	住生活学Ⅰ(基礎編)	2年	2
②建築計画	住生活学Ⅱ(応用編)	3年	2
②建築計画	建築・住居史	1年	2
②建築計画	建築・住宅論	2年	2
②建築計画	空間デザイン学	2年	2
②建築計画	住居デザイン学	2年	2
②建築計画	建築計画学	3年	2
②建築計画	住環境計画学	3年	2
②建築計画	生活空間解析学Ⅰ	3年	2
②建築計画	都市計画学	3年	2
②建築計画	福祉住環境学	2年	2
②建築計画	地域居住学	2年	2
③建築環境工学	建築環境学	2年	2
③建築環境工学	住環境工学実習	3年	2
③建築環境工学	建築環境学実習	3年	1
③建築環境工学	建築装備学Ⅰ	2年	2
③建築環境工学	建築装備学Ⅱ	3年	2
③建築環境工学	建築装備学実習	3年	1
④建築設備	建築設備学	2年	2
④建築設備	生活環境と住居設備	1年	2
⑤構造力学	建築構造力学	2年	2
⑤構造力学	建築構造学実習	3年	1
⑤構造力学	空間計画のための物理環境科学演習Ⅰ	1年	3
⑥建築一般構造	建築一般構造学	1年	2
⑥建築一般構造	建築構造計画学	2年	1
⑥建築一般構造	木造建築構造学	2年	1
⑦建築材料	建築材料学	2年	2
⑦建築材料	構造材料力学実習	2年	1
⑧建築生産	建築施工学	2年	2
⑧建築生産	建築生産デザイン学演習	2年	2
⑨建築法規	住環境法規	2年	1
⑩その他	住環境造形実習	1年	2
⑩その他	デジタルデザイン演習	3年	1
⑩その他	建築図学	1年	2
⑩その他	ランドスケープ・デザイン論	3年	2
⑩その他	生活空間解析学Ⅱ	3年	2
⑩その他	緑地環境計画論	2年	2
⑩その他	インテリアデザイン	2年	2

指定科目に該当する開講科目一覧

2/2

学校種別: 大学 所在地都道府県: 奈良県 学校名 課程名: 奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科	学校課程コード: 2911-139-250
対象入学年: 平成21年(西暦2009年)4月入学 必要な実務経験の最短年数: 一級:2年 二級・木造:0年	修業年限: 4年 最終確認日: 2009/01/28

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
⑩その他	住居管理学	2年	2
⑩その他	住居管理学実習Ⅰ	2年	1
⑩その他	住居管理学実習Ⅱ	3年	1
⑩その他	測量学実習	3年	2
⑩その他	住環境学の技術者倫理	1年	2
⑩その他	住環境学フィールド演習Ⅱ	1年	1
⑩その他	空間計画のための物理環境科学演習Ⅱ	1年	3
⑩その他	住環境学学外演習(合宿演習)	3年	1

単位数総計 **97**

指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: 大学

学校課程コード: 2911-139-250

所在地都道府県: 奈良県

学校名 課程名: 奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科

対象入学年: 平成21年(西暦2009年)4月入学

修業年限: 4年

必要な実務経験の最短年数: 二級・木造:0年

最終確認日: 2009/01/28

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	設計演習Ⅰ	2年	2
①建築設計製図	設計演習Ⅱ	2年	3
①建築設計製図	設計演習Ⅲ	3年	3
①建築設計製図	設計演習Ⅳ	3年	3
①建築設計製図	設計演習Ⅴ	4年	3
①建築設計製図	CAD演習	2年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住生活学Ⅰ(基礎編)	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住生活学Ⅱ(応用編)	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築・住居史	1年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築・住宅論	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	空間デザイン学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住居デザイン学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画学	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住環境計画学	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	生活空間解析学Ⅰ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	都市計画学	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	福祉住環境学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	地域居住学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住環境工学実習	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境学実習	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築装備学Ⅰ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築装備学Ⅱ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築装備学実習	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	生活環境と住居設備	1年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造学実習	3年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	空間計画のための物理環境科学演習Ⅰ	1年	3
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築一般構造学	1年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造計画学	2年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	木造建築構造学	2年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料学	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造材料力学実習	2年	1
⑧建築生産	建築施工学	2年	2
⑧建築生産	建築生産デザイン学演習	2年	2
⑨建築法規	住環境法規	2年	1
⑩その他	住環境造形実習	1年	2
⑩その他	デジタルデザイン演習	3年	1
⑩その他	建築図学	1年	2
⑩その他	ランドスケープ・デザイン論	3年	2
⑩その他	生活空間解析学Ⅱ	3年	2
⑩その他	緑地環境計画論	2年	2

指定科目に該当する開講科目一覧

2/2

学校種別: 大学 所在地都道府県: 奈良県 学校名 課程名: 奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科	学校課程コード: 2911-139-250
対象入学年: 平成21年(西暦2009年)4月入学 必要な実務経験の最短年数: 二級・木造:0年	修業年限: 4年 最終確認日: 2009/01/28

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
⑩その他	インテリアデザイン	2年	2
⑩その他	住居管理学	2年	2
⑩その他	住居管理学実習Ⅰ	2年	1
⑩その他	住居管理学実習Ⅱ	3年	1
⑩その他	測量学実習	3年	2
⑩その他	住環境学の技術者倫理	1年	2
⑩その他	住環境学フィールド演習Ⅱ	1年	1
⑩その他	空間計画のための物理環境科学演習Ⅱ	1年	3
⑩その他	住環境学学外演習(合宿演習)	3年	1
単位数総計			97

住環境学科の卒業要件単位について

住環境学科の卒業要件単位については、平成 22 年度入学生（1 回生）より変更されています。卒業要件単位の詳細を、(1) 平成 22 年度入学生（1 回生）用、(2) 平成 21 年度以前入学生（2 回生以上）用として、以下に示しますので、卒業までに受講する科目の修得により卒業要件を満足できるか、学期毎にチェックリストを用いて確認するようにしてください。なお、卒業要件単位に関する詳細は、自分の入学年度版の「生活環境学部規程」（『Campus Life』）、全学教育ガイド、専門教育ガイドを必ず参照するようにしてください。

(1) 平成 22 年度入学生（1 回生）：

下記①～⑫の条件を満足できるか、各自の履修計画をアドバイザーとともに必ず確認してください（下記のチェックリストで確認してください）。

授業科目		必要単位数	備考			
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	1 2	合計 1 8	<input type="checkbox"/> ①英・仏・独のいずれか 1 科目について 8 単位以上を修得すること。 <input type="checkbox"/> ②外国語科目の合計が 12 単位以上であること。 <input type="checkbox"/> ③「健康運動実習 I・II」（必修）を修得すること。	<input type="checkbox"/> ④基礎科目群の中から 18 単位以上修得すること。
		保健体育科目（必修）	2			
		情報処理科目	—			
		主題科目	—			
教養科目群		1 6	<input type="checkbox"/> ⑤教養科目群の中から 16 単位以上修得すること。但し、基礎科目群で 18 単位を超えて取得した科目の単位数を加えることができる。			
専門教育科目	学部共通科目（選択必修）	6	<input type="checkbox"/> ⑥学部共通科目（選択必修）の中から 6 単位以上修得すること。			
	学科専門科目（必修）	5 5	<input type="checkbox"/> ⑦学科専門科目（必修）の全科目の 50 単位を修得すること。（「卒業研究 I・II」を除く）			
			<input type="checkbox"/> ⑧学科専門科目（選択必修）の中から必修科目として指定される科目の組合せによる 5 単位を修得すること。			
	学科専門科目（選択必修）	1 6	<input type="checkbox"/> ⑨学科専門科目（選択必修）の中から、16 単位以上修得すること。（⑧で必修科目にカウントされる 5 単位を除く）			
卒業研究（必修）	1 2	<input type="checkbox"/> ⑩「卒業研究 I・II」（必修）12 単位を修得すること。				
卒業に必要な残りの単位数		7	<input type="checkbox"/> ⑪上記①～⑩を満足し、卒業要件単位として認められる単位数の合計が 130 単位以上であること。			
生活環境学部規程・別表 VII 「住環境学科選択科目」			<input type="checkbox"/> ⑫上記①～⑪で修得した単位の中に、生活環境学部規程・別表 VII 「住環境学科選択科目」に示される科目のうち 18 単位以上分を含むこと。			

注意：

【1】以下の科目は卒業要件単位に含まれません。

- 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリア教育科目群」のうち、「専門職論」「キャリアデザインゼミナール」。
- 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職に関する専門科目」全て。

【2】住環境学科専門科目の「住環境学フィールド演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【3】生活環境学部共通科目（選択必修）(⑥)については、以下の科目より3科目以上を修得することが、卒業要件として必要です。

科目名	履修学年・学期	単位数	単位数集計欄	
生活環境学原論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
生活健康学概論	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
食物科学概論	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
衣環境学概論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
女性生活史	2・後	2	<input type="checkbox"/>	
ジェンダー文化論	2・前	2	<input type="checkbox"/>	
家族関係論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
生活経営学	2・後	2	<input type="checkbox"/>	
住環境学概論	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 合計単位数 (6単位以上) →				

【4】住環境学科必修科目のうち選択必修科目より指定された組合せで修得すべき必修科目(⑧)については、以下の科目群ごとの条件を全て満たす5単位を修得することが、卒業要件として必要です。

科目群	選択必修科目の科目名	履修学年・学期	単位数	単位数集計欄		条件(チェック欄)	
A	建築設備学	2・後	2	<input type="checkbox"/>		科目群Aより2単位を必修した。	<input type="checkbox"/>
	生活環境と住居設備	1・後	2	<input type="checkbox"/>			
B	建築構造計画学	2・後	1	<input type="checkbox"/>		科目群Bより1単位を必修した。	<input type="checkbox"/>
	木造建築構造学	2・後	1	<input type="checkbox"/>			
C	建築施工学	2・後	2	<input type="checkbox"/>		科目群Cより2単位を必修した。	<input type="checkbox"/>
	建築生産デザイン学演習	2・後	2	<input type="checkbox"/>			
5単位を超える単位数は「選択必修科目」の単位に算入→						<input type="checkbox"/> 上記条件を全て満足している。	

【5】生活環境学部規程・別表Ⅶ「住環境学科選択科目」に示す科目から18単位以上を修得してください(⑫:下記のチェックリストで確認してください)。

区分・テーマなど		授業科目	履修学年・学期	単位数	単位数集計欄	
主題科目		いのちと健康	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		生活と健康	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		環境	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
情報処理科目		情報処理入門Ⅰ	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		情報処理入門Ⅱ	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
教養科目群		統計入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		統計	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		数学入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		数学アラカルト	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		物理学の考え方	2・前	2	<input type="checkbox"/>	
		生活の中の物理学	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		化学の常識	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		化学の世界	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		環境と生物	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		細胞と生命	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		ジェンダー生理学	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		生体機能と性差	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		地学入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		地球環境	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		自然人類学	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		科学史入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		科学史	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		生活と色彩	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		色彩心理	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		健康・スポーツ科学	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		環境と化学	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		エネルギーと化学	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
		生命・運動・健康	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
専門教育科目	学部共通科目	家庭機械・家庭電気・情報処理	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		衣環境学概論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
	学科専門科目	空間計画のための自然環境科学	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		空間計画のための物理環境科学演習Ⅱ	1・後	3	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/> 合計単位数 (18単位以上) →		

(2) 平成 21 年度以前入学生 (2 回生以上) :

下記①～⑩の条件を満足できるか、各自の履修計画をアドバイザーとともに必ず確認してください (下記のチェックリストで確認してください)。

授業科目		必要単位数	備考	
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	1 2	<input type="checkbox"/> ①英・仏・独 (平成 18 年度入学生は英・仏・独・中) のいずれか 1 科目について 8 単位以上を修得すること。 <input type="checkbox"/> ②外国語科目の合計が 12 単位以上であること。 <input type="checkbox"/> ③「健康運動実習 I・II」(必修) を修得すること。 <input type="checkbox"/> ④基礎科目群の中から 18 単位以上修得すること。
		保健体育科目 (必修)	2	
		情報処理科目	—	
		主題科目	—	
	教養科目群	1 6	<input type="checkbox"/> ⑤教養科目群の中から 16 単位以上修得すること。但し、基礎科目群で 18 単位を超えて取得した科目の単位数を加えることができる。	
専門教育科目	学部共通科目 (選択必修)	6	<input type="checkbox"/> ⑥学部共通科目 (選択必修) の中から 6 単位以上修得すること。	
	学科専門科目 (必修)	4 6	<input type="checkbox"/> ⑦学科専門科目 (必修) 46 単位を修得すること。(「卒業研究 I・II」を除く)	
	学科専門科目 (選択必修)	2 0	<input type="checkbox"/> ⑧学科専門科目 (選択必修) の中から 20 単位以上修得すること。	
	卒業研究 (必修)	1 2	<input type="checkbox"/> ⑨「卒業研究 I・II」(必修) 12 単位を修得すること。	
卒業に必要な残りの単位数		1 2	<input type="checkbox"/> ⑩上記①～⑨を満足し、卒業要件単位として認められる単位数の合計が 130 単位以上であること。	
生活環境学部規程・別表Ⅶ「住環境学科選択科目」			<input type="checkbox"/> ⑪上記①～⑩で修得した単位の中に、生活環境学部規程・別表Ⅶ「住環境学科選択科目」に示される科目のうち 20 単位以上分を含むこと。	

注意：

【1】以下の科目は卒業要件単位に含まれません。

- 生活環境学部規程別表Ⅲの 1 に定める「キャリア教育科目群」のうち、「専門職論」「キャリアデザインゼミナール」。
- 生活環境学部規程別表Ⅲの 2 に定める「教職に関する専門科目」全て。

【2】住環境学科専門科目の「住環境学フィールド演習 I・II・III・IV・V」について、卒業要件単位に含むことができるのは 2 単位まで。

【3】生活環境学部共通科目 (選択必修) (⑥) については、以下の科目より 3 科目以上を修得することが、卒業要件として必要です。

科目名	履修学年・学期	単位数	単位数集計欄	
生活環境学原論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
生活健康学概論	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
食物科学概論	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
衣環境学概論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
女性生活史	2・後	2	<input type="checkbox"/>	
ジェンダー文化論	2・前	2	<input type="checkbox"/>	
家族関係論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
生活経営学	2・後	2	<input type="checkbox"/>	
住環境学概論	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 合計単位数 (6 単位以上) →				

【4】生活環境学部規程・別表Ⅶ「住環境学科選択科目」に示す科目から 20 単位以上を修得してください (⑩：下記のチェックリストで確認してください)。

区分・テーマなど	授業科目	履修学年・学期	単位数	単位数集計欄		
主題科目	いのちと健康	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	生活と健康	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	環境	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
情報処理科目	情報処理入門Ⅰ	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	情報処理入門Ⅱ	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
教養科目群	統計入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	統計	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	数学入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	数学アラカルト	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	物理学の考え方	2・前	2	<input type="checkbox"/>		
	生活の中の物理学	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	化学の常識	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	化学の世界	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	環境と生物	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	細胞と生命	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	ジェンダー生理学	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	生体機能と性差	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	地学入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	地球環境	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	自然人類学	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	科学史入門	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	科学史	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	生活と色彩	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	色彩心理	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	健康・スポーツ科学	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	数学の楽しみ・春夏	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
	数学の楽しみ・秋冬	1・後	2	<input type="checkbox"/>		
	ミクロな世界の物理学	1・前	2	<input type="checkbox"/>		
マクロな世界の物理学	1・後	2	<input type="checkbox"/>			
環境と化学	1・前	2	<input type="checkbox"/>			
エネルギーと化学	1・後	2	<input type="checkbox"/>			
生命・運動・健康	1・後	2	<input type="checkbox"/>			
専門教育科目	学部共通科目	家庭機械・家庭電気・情報処理	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		衣環境学概論	1・後	2	<input type="checkbox"/>	
	学科専門科目	空間計画のための自然環境科学	1・前	2	<input type="checkbox"/>	
		空間計画のための物理環境科学演習Ⅰ	1・後	3	<input type="checkbox"/>	
		空間計画のための物理環境科学演習Ⅱ	1・後	3	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 合計単位数 (20 単位以上) →						